

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 板 家 智
論文審査委員	主 査 稲 井 哲一朗 印
	副 査 沢 禎 彦 印
	副 査 岡 部 幸 司 印
論 文 題 目	Hertwig's epithelial root sheath cells contribute to formation of periodontal ligament through epithelial-mesenchymal transition by TGF- $\beta$
(論文審査結果の要旨)	
<p>本学位論文申請者は、ケラチン 14 を発現する細胞で赤色蛍光蛋白 tdTomato を発現する遺伝子改変マウスとヘルトウィッチ上皮鞘由来の HERS01a 細胞を使って、ヘルトウィッチ上皮鞘の断裂と断裂後の上皮鞘細胞の性状について新たな知見を提示した。すなわち、ヘルトウィッチ上皮鞘に接する象牙芽細胞に由来する transforming growth factor-<math>\beta</math> が、上皮-間葉転換により上皮鞘を断裂させ、同時に、間葉転換した上皮鞘細胞が歯根膜および無細胞セメント質の形成に関与する可能性を蛍光免疫染色、リアルタイム PCR 法、ウエスタンブロッティング法にて示した。本研究結果は、歯根形成におけるヘルトウィッチ上皮鞘の新たな役割を示唆するものである。公開予備審査会ならびに追加審査において、研究の背景、目的、方法、結果および考察に関して明確な説明と質疑に対する適切な回答がなされた。以上により、本申請論文は学位論文として適格であると評価された。</p>	